

卒業論文

タイトルタイトルタイトルタイトル
タイトルタイトルタイトル

Title Title Title Title Title Title Title Title Title Title
Title Title Title

同志社大学 理工学部 情報システムデザイン学科
2018年度 0001 番
研究 太郎

指導教員
理工学部 情報システムデザイン学科
ネットワーク情報システム研究室
佐藤 健哉 教授

2022年2月31日

概要

概要は、論文全体を読まなくてもその研究の序論から結論までが理解できるようにするものです。本文の内容を忠実に反映させるだけでなく、研究の新規性や重要性を簡潔かつ的確に伝えられることが、より多くの読者を獲得する鍵となります。概要は、研究目的から研究方法、研究結果、そして結論に至る肝心な要素のすべてが要約されていなければならないのです。

キーワード

1. 赤, 2. 青, 3. 黄

目次

| | | |
|-------|--------------------|---|
| 第 1 章 | はじめに | 1 |
| 1.1 | 現状と問題点 | 1 |
| 1.2 | 数式の書き方 | 1 |
| 第 2 章 | つぎに | 2 |
| 2.1 | 文献の引用の仕方 | 2 |
| 2.2 | 図の挿入の仕方 | 2 |
| 第 3 章 | おわりに | 4 |
| | 謝辞 | 5 |
| 付 録 A | ソースコード | 6 |
| | 参考文献 | 7 |
| | 研究業績 | 8 |

第1章 はじめに

最初はイントロ的なことを書く．

1.1 現状と問題点

最近の現状と問題点とか．

1.2 数式の書き方

アインシュタイン方程式は以下の通りである．

$$R_{\mu\nu} - \frac{1}{2}g_{\mu\nu}R = \frac{8\pi G}{c^2}T_{\mu\nu} \quad (1)$$

ベクトルの書き方は以下の通り．

- 普通の α は `\alpha` で書く．
- `\vec{\alpha}` で $\vec{\alpha}$
- `\usepackage{bm}` している場合は `\bm{\alpha}` で $\boldsymbol{\alpha}$
- 並べると, $\alpha, \vec{\alpha}, \boldsymbol{\alpha}$

第2章 つぎに

この辺から本番.

2.1 文献の引用の仕方

この文献 [1,2] を参考にした.

2.2 図の挿入の仕方

図は以下のように挿入し，図 1 と引用します.



図 1: サンプル画像 1

第3章 おわりに

まとめを書きましょう。800字から1000字ぐらいでまとめてください。背景，解決すべき問題点，提案内容，結果，考察，研究の意義などを含めて記載してください。結果については，過去形（・・・実施した．・・・評価した．・・・確認した．など）で記載してください。

謝辞

謝辞には章番号をつけなくてもよいので、`\chapter*{}` という具合に書きます.

付 録A ソースコード

プログラム文とかを書きたい場合は，以下のようにしてみます．\usepackage{ascmac}してscreen環境を使うと，枠がつきます．

```
#include <iostream>
using namespace std;

int main() {
    for(int i = 1; i <= 5; i++) {
        cout << "こんにちは, C++ の世界! " << i << endl;
    }
    return 0;
}
```

参考文献

- [1] Latex Wiki. <https://texwiki.texjp.org/>.
- [2] 渡辺 豊, "角皆静男先生のご逝去を悼む", 地球化学, vol.50, no.1, pp.1-3, 2016.

研究業績

- [1] 研究太郎, 研究次郎, 研究三郎, 研究の研究による研究のための研究, 第1回研究フォーラム, vol.1, pp.1-10, 2020.
- [2] 研究太郎, 研究次郎, 研究三郎, 研究の研究による研究のための研究の応用, 研究論文誌, vol.1, pp-1-12, 2020.